KANAGAWA UNIVERSITY

剛氣果敢

神奈川大学体育会剣道部通信

令和3年6月25日　第11号
発行人　神奈川大学体育会剣道部
部長　望月　耕太
編集人　広報委員長　小山　篤
net34186@ai.ayu.ne.jp
090-2668-0189

3年井上（いのうえ）　涼（りょう）選手が３位に入賞

相模原弥栄高出身

第67回　関東学生剣道選手権大会　創部以来の快挙

3年　淀縄（よどなわ）　樹生（たつき）選手（東海大学付属相模高出身）も 全日本出場

詳しい大会の内容は、剣道部のホームページをご覧ください。３年井上涼選手と３年淀縄樹生選手は、第６９回全日本学生剣道選手権大会に出場しますので、応援をお願いします。なお、全日本学生剣道選手権大会は、６月２７日に開催予定でしたが、秋以降に延期されましたのでお知らせします。日時、会場等は、未定です。

部長　望月　耕太　　**全日本大会を期待する**

５月１３日・１９日、東京武道館において関東（女子）学生剣道選手権大会の参観をいたしました。本学からは、女子４名、男子７名の出場でした。私自身、剣道部の部長を拝命してから、全国大会の切符をかけた大会の参観は初めてのことでした。今回は、新型コロナ感染症対策のため、会場への入場が認められる部員は大会に参加する者のみであり、試合に負けた選手はすぐに会場を後にしなければならないため、会場全体が緊張感に包まれていたように思います。出場選手は、これまでに練習を重ねた己の剣道と向き合いながら試合に臨んでいました。

部員の大会結果は、女子は惜しくも全国大会へと進むことはできませんでしたが、延長まで続く試合も見られ、悔しい結果に終わりました。男子は、井上涼さんと淀縄樹生さんの２名が見事全国大会への切符をつかみ、その中でも井上さんは本学の剣道部史上初の３位入賞を果たしました。この大会には、出場を希望した選手全員が出場できるわけではありませんでした。今大会に出場した、しないに関わらず、悔しい思いをした部員は、今回の悔しさを忘れず、秋に予定されている関東（女子）学生剣道優勝大会を目標に、引き続き日々の鍛錬に取り組んでいただきたいと思います。同大会は団体戦ですので、これまでの神大の剣道部の集大成を発揮できる試合を期待しています。

３年　井上　涼　　**３位入賞素直に嬉しい**

今回の大会で３位という成績を残せたことに素直に嬉しく思います。普段から稽古を一緒に行う部員の仲間、指導者の先生方、剣道部に協力してくださる望月部長のお陰だと思っております。感謝申し上げます。大会では、１日を通して攻めの気持ちを忘れずに正々堂々とした剣道を心掛けました。初戦の入りがとても良い状態で臨むことができ、私のやってきた成果が十分に発揮された日だったと思います。コロナ禍でも稽古ができている環境作りをしてくださる方々への恩返しが出来るようにしていきたいです。団体でも全日本に行くことができるよう今年の結果が、まぐれだったと言われないよう来年も成績を残せるよう稽古に励んでいきます。

４年　男子主将　菊地　慶太　　**秋の団体戦結果出します**

コロナ禍の厳しい状況の中、全部員が全力で部活に取り組み結果として、井上、淀縄が素晴らしい結果を残してくれました。このように部活の中で素晴らしい結果を残してくれる学生がいるとチームの雰囲気も一段と良い方向に行ってくれると思います。約三ヶ月後の団体戦で、結果を出せるように残りのわずかな期間を全力で取り組み、最期まで主将として恥じない行動を取っていきたいと思います。団体戦で必ず結果を出します。

４年　女子主将　蒲谷　朋世　　**チームワーク大切に**

大会では、自分としてはとても悔しい結果となり反省の多い試合でしたがその一方で、３年生男子２名が全日本出場を決め、それぞれ個人の力が発揮できたこともそうですし、神奈川大学体育会剣道部として全員の自信に繋がる良い大会になったと思います。次の団体戦に向けて女子は人数が少ない部分もありますが、その分チームワークを大切にしていきたいと思います。悔いの残らないよう稽古に励み、必ず全日本出場を成し遂げたいと思います。

３年　淀縄　樹生　　**全日本頑張るぞ‼**

大会では、神奈川大学剣道部の監督やコーチの先生方、先輩や仲間たち、高校の先生や道場の先生、陰ながら支えてくれた親の支えもあり、なんとか全日本学生出場の権利を得ることができました。同級生の井上涼がベスト４という好成績を残し大変うれしく思います。好成績を残した仲間に負けないように全日本学生では上を目指して頑張りたいと思います。